

南アフリカの政策金利引き下げについて

2012年7月23日

7月17日～19日(現地時間)、南アフリカ準備銀行(SARB)は金融政策会合を開催し、政策金利を0.5%引き下げ5.0%とすることを発表しました。政策金利の変更は2010年11月以来の約1年8ヶ月ぶりの政策金利の変更になります。

《政策金利引き下げ発表》

今回の0.5%の政策金利引き下げは、市場では据え置き予想が大勢を占めていただけに予想外の引き下げとなりました。欧州債務問題などの悪影響を強く懸念し、やや予防的な形で早めの政策金利の引き下げに踏み切ったものとみられます。

実際に、南アフリカ準備銀行(SARB)は、同国の経済成長率見通し(2012年+2.7%、2013年+3.8%)を小幅に下方修正し、同時にインフレ予測(2012年+5.6%、2013年+5.1%)も引き下げています。つまり、インフレ圧力懸念が弱まる環境下で、欧州債務問題や世界景気減速の影響による先行きに対する不透明感を払拭することを意図し、政策金利引き下げを早めに行ったと考えられます。

《今後の見通し》

●政策金利見通し

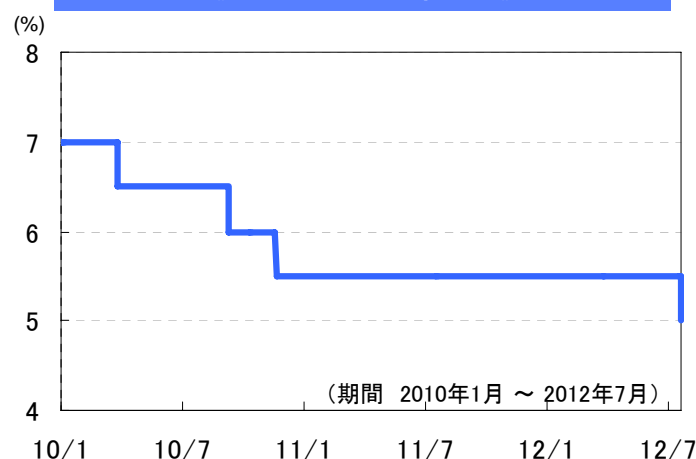
今回の政策金利引き下げは予防的な形で、早めに踏み切ったと考えられるため、一旦、南アフリカ準備銀行(SARB)は、今回の引き下げ効果を確認する姿勢をとり、しばらくは政策金利を据え置くと考えます。

しかし、南アフリカの製造業が減速傾向にあることや、国内労働市場も軟調であることから国内消費もやや低調に推移が続く可能性もあり、更なる追加政策金利引き下げを行う可能性もあると考えます。

●為替見通し

南アフリカランドは、欧州債務問題による投資家のリスク回避姿勢や景気減速による商品市況の停滞に懸念が残りますが、同国国債のシティグループ世界国債インデックスへの採用を背景とする投資家の同国国債市場への資金流入や米国をはじめ世界的な金融緩和観測が下支えとなり、レンジ内で底堅く推移するとみています。

《南アフリカの政策金利》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成 (年/月)

《南アフリカランドの対円推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成 (年/月)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。